

東根郷・西根郷の灌漑水獲得の闘い



いつも熱心に講話を聞き、地元学への熱意が溢れる受講生のみなさん



傾斜の緩い伊達盆地の様子や河岸段丘の確認

●新型コロナウイルス感染対策●

新型コロナウイルス感染防止対策として伊達中央交流館では、マスク着用、検温、密にならない配置での利用をお願いしています。

今回(1月13日)さらに、
※午前9時から午後8時まで(日曜日は午後5時まで)の利用をお願いしております。
＜1月13日(水)から2月7日(日)まで＞
適切に配慮しつつ、どうぞご利用下さい。



NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第30号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
理事長 小野孝雄

熱い地元学への愛

12月16日(金)「あらためて伊達盆地―西根郷・東根郷の灌漑水獲得の闘い」として講師の八島俊雄先生に、講話をいただきました。2らぶDate VI(らぶらぶだて6年次)大地編は初めに、ふるさとの福島盆地に視点を当て形成過程を、次に自然環境を学問と融合させた先人の例を、そして3回目今回は上記の「あらためて灌漑水獲得の闘い」でした。

稲作は人々のなりわいの中心で、水田を開き稲を作ることは、藩政時代では領主、領民双方のねがいであったようです。伊達盆地の盆地底は傾斜が緩いため水路作りには長いこと難渋した歴史が残っていることを学びました。2らぶDate VI大地編及び歴史編(3ページ上段)は毎回30名を超す参加でした。開講以来6年次まで熱心に受講された皆さんの地元学への愛をいつも感じております。

「灌漑水獲得の闘い」でした。

稲作は人々のなりわいの中心で、水田を開き稲を作ることは、藩政時代では領主、領民双方のねがいであったようです。伊達盆地の盆地底は傾斜が緩いため水路作りには長いこと難渋した歴史が残っていることを学びました。

2らぶDate VI大地編及び歴史編(3ページ上段)は毎回30名を超す参加でした。開講以来6年次まで熱心に受講された皆さんの地元学への愛をいつも感じております。

伊達西地区で「地域支え合い活動」が始めます

1月12日(火)「住民間で支え合い、住みやすい地域づくり」をめざし、町内会長、自治協の福祉介護部員が伊達中央交流館で話し合いました。伊達市が進める「地域主体の住民同士の支え合い(共助)」の取組みについて、伊達西地区としての取組みを検討し、「ちよっとした日常生活上の困りごと」に協力する「仕組み」を作り、スタートします。町内会の班長さんから案内文と申込書が届きますのでよろしく願っています。

シリーズ おらが町内会パート2 〈中央〉

◆伊達町と中央町内会の発展に期待

町の発展の要素にはいろいろありますが、そのひとつである道路の整備・改良は、地域や町の発展には欠かせない事業です。

◆整備・改良が行われた道路

近年、我が伊達町で道路の整備・改良が行われた道路は、県の事業として国道4号伊達交差点から伊達総合支所入口交差点までの、国道399号の拡幅に伴い ①福島方面に向かう左折レーンの延長 ②総合支所入口交差点の上下線の右折レーンの設置 ③箱崎・沖前地内伊達中学校南側伊達ふれあいセンター方面への暫定右折レーンの設置 ④伏黒・北屋敷地内の県道保原・桑折線の拡幅、これらの改良整備は、交通弱者の安全と交通の安全と円滑が図られています。

◆現在の改良工事

現在行われている工事は、国道4号の伊達交差点から国道399号を飯坂方面に向け、県道(旧国道4号)を越えた浅間理容所前までの約360mの区間の拡幅工事で、①伊達交差点の福島方面に向かう右折レーンの拡幅 ②県道(旧国道4号)との片町交差点には図(1)のように上下線に右折レーンが設置されます。③伊達小学校の北側

図(1) 赤で示されている部分 JA 伊達みらい長岡支店



図(2)



国道の変則交差点も小学校改築に伴い、国道399号上下線に右折レーンが設置される予定です。図(2)は現状の交差点です。新校舎は令和6年竣工予定と聞いています。この他にも県道国見・福島線(旧国道4号)の鶴田地内の拡幅改良の計画も進んでいます。さらに、昨年8月2日(日)には、国道4号伏黒・八反田地内に復興支援道路「相馬・福島道路」の伊達・桑折ICが供用され、東北自動車道や東北中央自動車道の利用に大変便利になりました。そして3年後位には、IC南側に大型商業施設がオープン予定で、周辺の発展に繋がる市による周辺市道の整備・改良に期待したいと思っています。この様な道路整備による今後の、伊達町の発展と、特に、国道399号に沿った中央町内会の発展に大いに期待するところです。(中央町内会長 山田 博明)

シリーズ おらが町内会パート2 〈伊達生協団地〉

◆団地造成から45年

伊達生協団地は45年前に旧伊達町に造成された笹田と柳内を住所地とする自治会です。

地理的には聖光学院高等学校の南側から県道福島・国見線(旧国道4号線)までの範囲に位置しています。

団地は現在、戸建ての116世帯で構成され、造成当時の居住世帯と比較的近年に入居された子育て世帯等が混在しています。

◆新型コロナの影響

今年度は新型コロナウイルスの影響で、残念ながら計画した活動が中止に至りました。

例年、子供たちが楽しみにしている天王祭への山車運行中止を始め、秋の芋煮会や新年会も中止となりましたが、団地内の清掃活動は3密を避ける等の工夫を講じながら、多くの会員の協力のもと計画通り実施できたことは幸いです。

一方、明るい話題としては伊達市職員の方の指導のもと、「生協団地元気づくり会」が令和元年10月からスタート。令和2年10月からは自主活動として行う様になりました。活動は、有志会員12名、15名の皆さんが、毎週水曜日と金曜日に自治会館を会場に、健康増進と会員親睦に努めています。(現在は1月末まで活動自粛中)

◆今後への期待

令和2年8月には東北中央自動車道(相馬福島道路)の伊達桑折ICが開通したこと生活の利便性が向上し、また数年内には団地の東側に近接するエリアに大型ショッピングモールの建設も予定されており、今後もこのようなインフラ整備と共に当団地の発展が期待されます。

令和3年は一日も早いコロナの収束を願いつつ、「自助・共助・公助」を大切にした笑顔で安心して暮らせる自治会を目指します。(伊達生協団地自治会会長 小野 光)



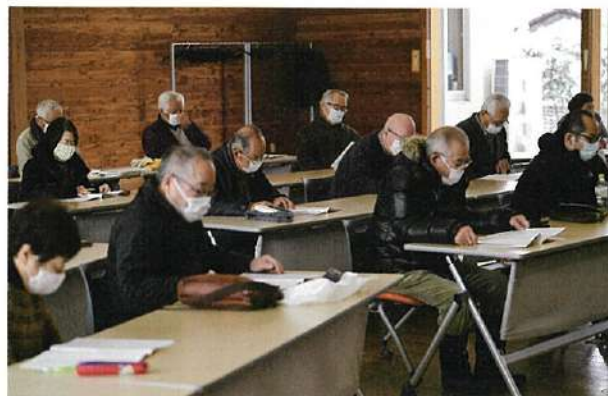
→元気づくり会の皆さん



→活動の様子

編集後記

コロナ禍にも関わらず、今回も多くの行事を実施する事が出来、参加者に喜んでいただきました。交流館の名前のおり、住民同士、いや人と人との交流の大切さを痛感します。コロナ対策を万全にして、残り少なくなった今年度の活動を進めていきたいと思っています。(菊田)



多数の資料をもとに紐解かれた
西地区の姿に感銘



12月16日(水)、電話帳を中心にした
「長岡の商工業の変遷」と題して、
伊達市文化財保護審議会会長の菊田正
男様から、講話をいただきました。豊
富な資料や写真から、懐かしかったり
感激したりするものが一杯ありました。
いろいろな工場、商店があったことか
ら、長岡は製品、人材の交流が盛んで
あった凄まじい営みの歴史が感じられ、今
後も流れに期待したいと思います。

2 2021 Date VI 歴史探訪③



小鳥が入ってくるといいですね

金づちやパーナーにも挑戦→



12月19日(土)、巣箱づくりをし
ました。小鳥たちは12月から3月にか
けて巣づくりをするそうなので、取組
みました。菅野栄次さんと佐藤静雄さん
に組み立ての順序や釘の打ち方を習っ
て、組み立てました。下学年のお子
さん達はお父さんやお母さんと一緒につ
くりました。巣箱をバーナーで焼く
のも自分たちでチャレンジしました。み
んなよくできました。

巣箱づくり教室



↑材料選別に真剣

←自分の門松と一緒に



12月24日(木)、福島森の案内人の
蓮沼昇先生と菅野一先生から、「笑い
門松」の作り方を教わりました。
3本の竹をきれいに磨き、切り口が
笑って見えるようにきれいに束ねて固
定していききました。束ねる作業は友達
や地域のボランティアさんと力を合わ
せて行いました。松や南天、梅の枝を
飾り、それぞれに個性のある門松がで
きました。

丁寧に手作りした門松は明るい新年
を迎えるにふさわしく、ニッコリ笑っ
た華やかな姿に仕上がりました。

門松づくり教室



それぞれの願いをこめて



子どもたちが飾り付けた枝は、交流
館の玄関をにぎやかにしてくれました。

1月8日(金)、毎月第2・第4金
曜に行っている子ども農園の活動とし
て、だんごさしを行いました。蓮沼昇
先生にだんごさしの由来についてお話
を聞き、ミズキの枝に米粉だんごや紅
白のモナカを飾りました。
昨年は子どもたちにもだんごを丸め
てもらいましたが、今年は感染症予防
のため、用意しただんごをさしました。
願い事や将来の夢を書いた短冊も下げ
ました。

子ども農園(だんごさし)



↑菅野講師にポイントを教わりながら

組み立てる順番が大事

11月28日(土)、地元の棟梁菅野栄
次様のご指導のもと、折り畳み式の
ローテーブルを作りました。
カット済みの材料を、釘やトンカチ、
電動ドライバー等を使ってドキドキし
ながら作り上げました。天板と天板の
隙間を合わせ、釘打ちの位置を横一列
に並べることが難しかったですが、暖
かくなったら自分で作ったローテー
ブルをアウトドアで使うのが楽しみです。

DIY入門講座 キャンプローテーブル



心と身体を丁寧にほぐして

深谷講師の細やかな指導

12月3日(木)より、深谷恵先生を
講師に迎え、女性を対象とした全6回
シリーズのヨガ教室を開催しました。
自律神経を整えリラクゼーション効果
が期待できるヨガで、女性に起こりがちな
身体の不調をセルフケアすることを目
的に、基本から丁寧に教えていただき
ました。
参加者の皆様は
回を重ねるごとに
コツをつかみ、肩
の力もだんだんと
抜けていったよう
でした。

女性のためのヨガ教室



毎回出席率の高い講座

高野講師の手には雨二モマケズの手帳

福島大学名誉教授の高野保夫先生に
よる全7回シリーズの講座が、12月8
日(火)に最終回を迎えました。
この日は「宮沢賢治晩年の二つの詩
が語るもの」を題材として、「稲作挿話」
(あすこの田はねえ)と「雨二モマ
ケズ」を読み解きました。
6年目となった講座ですが、毎回新
鮮な気づきや、作品を深く読みこむ楽
しみが尽きません。高野講師の長年の
ご尽力と、コロナ禍による予定の変更
や感染症対策などさまざまな面でご理
解・ご協力をいただいた受講生の皆様
に、改めて感謝
申し上げます。

宮沢賢治の文学世界VI⑦



12月11日(金)、講師の山中厚子先
生から、クリスマスの壁飾りの作り方
を教わりました。
三日月形のベースに、ユーカリの葉
や松ぼっくり、赤や金色のクリスマス
らしい華やかな飾りをグルーガンを使
って固定していききました。ベースの
形を生かしたパーツの置き方を山中
講師にアドバイスをいただきましたが
ら、思い思いのバランスに仕上がまし
た。
参加された皆様は、会話を忘れてし
まうほど作業に集中している様子でし
た。その甲斐あって、繊細で素敵な作
品ができあがりました。
←それぞれ違う雰囲気仕上がった

クリスマス飾り教室